

志方町ささえあい協議会

令和 4 年 2 月作成 生活支援コーディネーター 粥川



志方町ささえあい協議会は、平成 30 年度に協議会を立ち上げました。協議会で、地域課題を検討し、それに対応する住民主体のささえあいのしくみづくりについて、以下「これまでの取り組み」に記載しています。

これまでの取り組み

平成 30 年度


1. 志方町の良い所、自分たちができること、課題を協議会メンバーで協議した結果、「見守り活動」と「買い物支援」が取り組む課題ということが見えてきました。買い物支援の一つとして介護保険事業所の貸し出し車両で「買い物もん行こカー」のテスト運行を実施しました。



令和元年度

2. 高齢者の本当のニーズを探るため志方町の 70 歳以上の高齢者を対象に「生活実態アンケート」を実施しました。アンケート結果から「移動支援」「安心して暮らせるまちづくり」の 2 つのニーズが明確になりました。

令和 2 年度

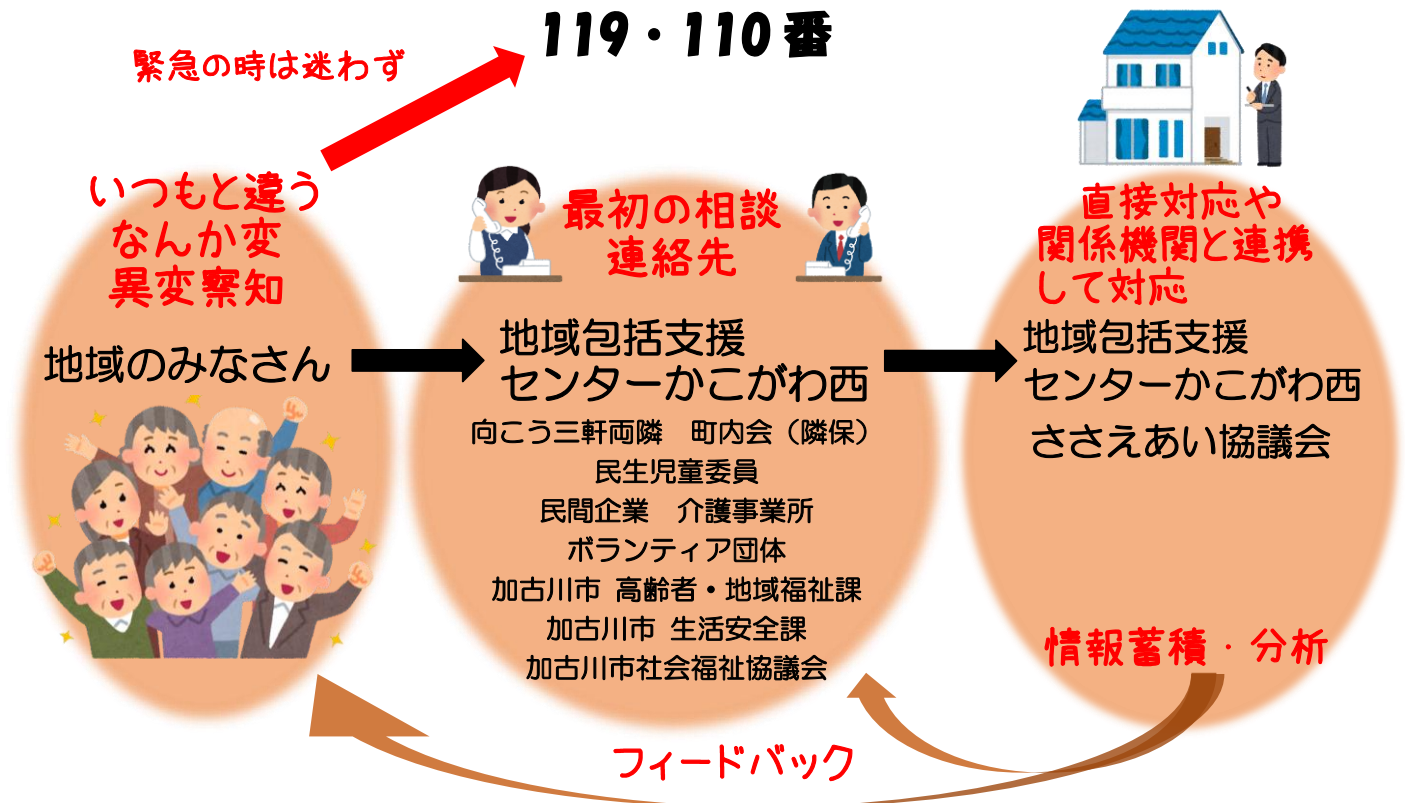
3.  「移動支援」の一つとして「買い物もん行こカー」の運行開始に向けて課題の協議を開始しました。介護事業所の車両の使用について、法的課題のクリアができず、協議会メンバーであるコープこうべの申し出により、コープこうべの車両を使用して運行をスタートしました。
4. 移動支援について引き続き運行できる方法を検討しています。もう一つのアンケート結果「安心して暮らせるまちづくり」の重点課題を「見守り活動」に決定し、課題と解決方法の取り組みを協議しました。その結果、

課題となること	⇒	解決に向けて協議すること
「近隣の顔の見えない関係性」	⇒	「見守り啓発活動」
「住民がつながる場がない」	⇒	「行きたくなるつどい場づくり」
「見守り活動をする団体や組織間で情報共有ができていない」	⇒	「各団体や組織が連携を取れるネットワークづくり」

となりました。

5. 引き続き、志方町全体で見守り活動のしくみづくり、具体的な啓発活動の方法を協議しています。見守りの際、異変察知時の連絡先など情報経路を決定しました。今後は協議会で作成した見守り体験ゲームの実施を通して、地域住民と各種団体が一体となって見守り活動に取り組んで行けるよう、啓発活動を進めていきます。

志方町ささえあい協議会見守り活動 情報提供の流れ



協議会メンバー

- 志方町中地区町内会連合会
- 志方町民生児童委員協議会
- ボランティア団体 あさがお会
- 介護老人福祉施設 ヴィラ播磨
- 地域包括支援センターかこがわ西
- 志方町東地区町内会連合会
- 志方中学校区ユニット
- 地域ボランティア
- 兵庫ヤクルト販売株式会社
- 加古川市福祉部
- 志方町西地区町内会連合会
- 老人大学 OB 会 三志会
- 社会福祉法人 鶴林園
- 生活協同組合コープこうべ
- 加古川市社会福祉協議会

志方町地区の課題を知る

ささえあい協議会の周知とアンケートの実施

移動支援が一番の課題

車がないと移動が大変
特に買い物は
荷物がかさ張るし重い
生鮮品は買いためできない



遠い・・・

令和2年6月
運行開始

迎えに来てくれて



自宅



コープ店舗



買い物もん行こカー

送ってくれる

外出機会の提供

閉じこもりがちな高齢者の身体の健康の促進はもちろん、気分転換となる効果もある

会話・交流機会の提供

普段から利用される方は顔なじみ同士になってくる。そのため交流が生まれ人同士の繋がりが生まれることもメリットの一つと言える